

世代別・職業別タウンミーティングでいただいた意見と市の対応

『テーマ：みんなでつくろう安全・安心・笑顔のまち まつやま ～災害に強いまちづくりをみんなで話し合い考えよう』

平成 27 年 4 月 17 日（金）19：00～20：30

☆	意見の内容	対応可能性と 対応時期	対応策または 不可能な理由等	担当課
1	三津地区の海拔表示板の数字が、標高表示板の数字と違う箇所があり、混在しているので、善処をお願いしたい。	<input checked="" type="checkbox"/> 可 能 <input type="checkbox"/> 対応済 <input checked="" type="checkbox"/> 今年度中 <input type="checkbox"/> 次年度以降 <input type="checkbox"/> 検討中 <input type="checkbox"/> 不可能 <input type="checkbox"/> その他	<p>海拔表示板は、地域の自主防災組織が自主的に設置したもので、その後、松山市が自主防災組織のご協力をいただきながら、標高表示板を設置しました。</p> <p>海拔と標高はともに同じ高さを示す数値であることから、災害時はもちろん平時の啓発のためにも正しい数値を掲載しておくことが大変重要ですので、松山市が設置者（自主防災組織）に、設置箇所とその標高の確認を行い、正しい数値を表示するよう対応します。</p>	危機管理課 竹田 憲和 948-6815 地域防災課 芝 大輔 926-9218
2	防災マップが各戸に配布されているが、十分に活用されていないと感じるので、活用していくように呼びかけをしていただきたい。	<input checked="" type="checkbox"/> 可 能 <input type="checkbox"/> 対応済 <input checked="" type="checkbox"/> 今年度中 <input type="checkbox"/> 次年度以降 <input type="checkbox"/> 検討中 <input type="checkbox"/> 不可能 <input type="checkbox"/> その他	<p>消防局では、これまでも研修会などで防災マップを活用してきましたが、今後はさらに地域での防災訓練や研修、自主防災組織の会議など、あらゆる機会をとらえて積極的な啓発を呼びかけていくとともに、小中学校には防災マップを用いた街角探検の実施等を提案したいと思います。</p> <p>また、地域の自主防災組織が中心となって、防災マップを使った研修等を各種団体の会合等で実施する際には、松山市もできる限りサポートしたいと考えています。</p>	危機管理課 竹田 憲和 948-6815
3	中島での緊急医療体制はどうなっているか。 緊急艇の出動には結構時間がかかるのか。常時誰かが乗っているの	<input type="checkbox"/> 可 能 <input type="checkbox"/> 対応済 <input type="checkbox"/> 今年度中 <input type="checkbox"/> 次年度以降	<p>消防救急艇（はやぶさ）を係留する三津浜棧橋の松山港務所には船長待機室があり、常時、船長（1名）が待機しています。</p> <p>西消防署に消防救急艇の出動指令があった後、出港す</p>	警防課 只信 省三 926-9233

	か。	<input type="checkbox"/> 検討中 <input type="checkbox"/> 不可能 <input checked="" type="checkbox"/> その他	<p>るまでに、救急隊員や救急車の乗船のほか、冬場の暖機運転に 10 分程度の時間を要し、出港後は、潮流や気象状況にもよりますが、三津浜母港から大浦港までおよそ 23 分で到着できます。</p> <p>大災害時には、愛媛県、愛媛県警察本部、自衛隊、海上保安部と連携し、ヘリコプターが防災マップにあるヘリコプター緊急時離着陸場から緊急搬送する体制をとっています。</p> <p>また、医療法人「友朋会」が運営する「なかじま中央病院」では、24 時間 365 日の一次救急医療体制を取っています。</p>	<p>医事業事課 大内 康司 911-1804</p>
4	<p>夜間の避難所運営訓練、避難所への宿泊訓練を実施したときに、マイクのスピーカーが雑音で聞きとりにくいのと、夜間の宿泊体制で、指示系統が乱れて、うまくいかなかった。市の命令系統をしっかりとっていただきたい。</p> <p>訓練は消防の協力なく自主防災組織でやらないと実際に機能しないのではないか。</p>	<input checked="" type="checkbox"/> 可能 <input checked="" type="checkbox"/> 対応済 <input type="checkbox"/> 今年度中 <input type="checkbox"/> 次年度以降 <input type="checkbox"/> 検討中 <input type="checkbox"/> 不可能 <input type="checkbox"/> その他	<p>松山市では、大規模災害に対処するため、平成 23 年 11 月に危機管理担当部署を、今年 4 月には消防局内に地域防災課を新設し、地域防災力のさらなる向上を目指しています。</p> <p>想定される避難所の管理運営については、これまで実施した訓練の教訓を生かすとともに、こうした組織を整備した上で、マニュアル等も活用して職員研修を実施するなど、スムーズな対応ができるよう備えています。</p> <p>自主防災組織が自発的な訓練の中で、自分たちで考え、行動することは、組織の自立性や創造性を育む上でも、とても効果的であると考えますので、ぜひ自主防災組織が中心となって地域の皆さんで積極的に訓練を実施していただきたいと思います。</p> <p>救助技術や応急救命講習など訓練の指導や安全管理については、引き続き消防局もご協力したいと考えています。</p>	<p>危機管理課 竹田 憲和 948-6815</p> <p>地域防災課 芝 大輔 926-9218</p>

5	<p>寝具、食料、水がどれくらいあるのか、どれだけ備蓄しているのか、わかれば教えてほしい。トイレはどうか。 また、その情報は伝わるのか。</p>	<p><input type="checkbox"/>可 能 <input type="checkbox"/>対応済 <input type="checkbox"/>今年度中 <input type="checkbox"/>次年度以降 <input type="checkbox"/>検討中 <input type="checkbox"/>不可能 <input checked="" type="checkbox"/>その他</p>	<p>現在、約7万5千食の食糧をはじめ、飲料水や毛布、日用品などを市内5ヶ所の防災備蓄倉庫に備蓄しており、災害時には必要な物資等を迅速に避難所に搬送します。</p> <p>さらに、市内19業者と食糧・飲料水・物資等の供給に関する協定を締結しており、備蓄物資が不足することになった場合は、5万食の流通備蓄を供給します。</p> <p>トイレについては、防災備蓄倉庫及び小中学校に簡易トイレを備蓄しているほか、マンホールトイレの整備も進めています。</p> <p>また、避難所の連絡体制としては、開設した際に市から連絡調整員を派遣するほか、防災行政無線を使って幅広く広報することになっています。さらに今年度、小中学校に災害時に優先的につながりやすい特設公衆電話を設置することにしています。</p>	<p>危機管理課 竹田 憲和 948-6815</p>
6	<p>愛媛大学での事業は、すごく面白い取り組みだが、別にとらなくてもいいという人が多いと思う。そうならないために、強制していいと思う。また、授業にしなくても、必ず勉強する時間(ガイダンス等)をつくれればいいと思う。</p>	<p><input type="checkbox"/>可 能 <input type="checkbox"/>対応済 <input type="checkbox"/>今年度中 <input type="checkbox"/>次年度以降 <input type="checkbox"/>検討中 <input type="checkbox"/>不可能 <input checked="" type="checkbox"/>その他</p>	<p>今年度から愛媛大学と連携した新たな取り組みとして全学部共通科目で単位取得もできる講義「環境防災学」を新設しました。受講した学生が、防災の知識・技術とともに、防災士の資格も取得することで、学生の防災意識と松山市の地域防災力の向上を目指します。募集の際は、学生の皆さんに分かりやすく、関心を思っただけのガイダンスなどを工夫し、一人でも多くの学生に参加していただけるよう取り組みます。</p> <p>来年度以降は、愛媛大学に「社会共創学部」が新設され、地域・行政と大学（学生）が連携した事業を行う予定ですので、多くの学生の皆さんにご参加いただけるよう、広く啓発ガイダンスに努めていきます。</p> <p>また、消防局では、大学の授業とは別に、若年層の防</p>	<p>地域防災課 芝 大輔 926-9218</p> <p>消防局総務課</p>

			<p>災力向上を目的に、「大学生消防教育課程」を実施する予定にしています。対象は、市内の大学に通学する大学生（短期大学生、大学院生を含む）で、日程は、平成27年8月7日（金）・8（土）、9月17日（木）・18日（金）の各2日間を予定していますので、ぜひご参加いただけたらと考えています。さらに松山市には機能別消防団員として大学生防災サポーター制度がありますので、こちらにもチャレンジしていただければと思います。</p>	<p>二村 浩昭 926-9104</p>
7	<p>松山市民会館に災害時に無料利用できる自動販売機があるが、このような自動販売機は松山市にはどのような所に、どれくらい設置されているのか。</p>	<input type="checkbox"/> 可能 <input type="checkbox"/> 対応済 <input type="checkbox"/> 今年度中 <input type="checkbox"/> 次年度以降 <input type="checkbox"/> 検討中 <input type="checkbox"/> 不可能 <input checked="" type="checkbox"/> その他	<p>松山市では、災害発生時の無料利用に関する協定を、6業者と締結し、現在、地域貢献型の自動販売機を市有施設に約220台設置しています。</p> <p>災害発生時には、災害対策本部の指示で、避難者の方に無料で提供するシステムになっています。</p>	<p>危機管理課 竹田 憲和 948-6815</p>
8	<p>小中学校でも防災マップを使った教育はしているのか。 (マップを活用したらいいのではないか。)</p>	<input checked="" type="checkbox"/> 可能 <input type="checkbox"/> 対応済 <input checked="" type="checkbox"/> 今年度中 <input type="checkbox"/> 次年度以降 <input type="checkbox"/> 検討中 <input type="checkbox"/> 不可能 <input type="checkbox"/> その他	<p>小中学校では、災害について社会科の授業や総合的な学習での防災教育、避難訓練等の機会に防災マップを活用しています。</p> <p>今後、各学校にアンケートを実施するなどして防災マップの利用現状を確認しその結果をもとに、防災士の資格を持つ教員が中心となった、教育現場でのより一層の活用を呼びかけたいと考えています。</p>	<p>学校教育課 吉岡 祐郁 948-6590 危機管理課 竹田 憲和 948-6815</p>
9	<p>松山市の取り組みとして、防災士の講習はできないか。ぜひ実施していただきたい。</p>	<input checked="" type="checkbox"/> 可能 <input checked="" type="checkbox"/> 対応済 <input type="checkbox"/> 今年度中 <input type="checkbox"/> 次年度以降	<p>防災士の研修や講演会は年間スケジュールを組んで、実施しています。昨年度は、4月の防災士研修会、7月の防災講演会、11月の防災シンポジウムなどを開催し、防災士の資格取得者に参加の案内を郵送等でお知らせして</p>	<p>地域防災課 芝 大輔 926-9218</p>

		<input type="checkbox"/> 検討中 <input type="checkbox"/> 不可能 <input type="checkbox"/> その他	<p>います。</p> <p>また、消防職員が地域の防災士や自主防災組織と一緒に防災訓練や救命講習などの実施もしていますので、ぜひ積極的にご参加いただきますようお願いします。</p>	
10	市長がメディアを活用して、松山市の行政のお知らせをするときに、防災マップの利活用をPRすると効果的ではないか。	<input type="checkbox"/> 可能 <input type="checkbox"/> 対応済 <input type="checkbox"/> 今年度中 <input type="checkbox"/> 次年度以降 <input checked="" type="checkbox"/> 検討中 <input type="checkbox"/> 不可能 <input type="checkbox"/> その他	<p>テレビメディアなどを活用した市政広報の中で、防災をテーマとした内容を取り上げる場合、防災マップの利活用をPRできるよう、今後の番組構成の中で検討したいと考えています。</p> <p>そのほか、地域の防災訓練等、あらゆる機会をとらえて防災マップの利活用を呼びかけていくなど、他の啓発方法についても検討したいと考えています。</p>	<p>シブプロモーション推進課 木山 聡江 948-6705</p> <p>危機管理課 竹田 憲和 948-6815</p>
11	HUGゲームを地域の各種団体で活用すれば興味が出てよいのでは。	<input checked="" type="checkbox"/> 可能 <input checked="" type="checkbox"/> 対応済 <input type="checkbox"/> 今年度中 <input type="checkbox"/> 次年度以降 <input type="checkbox"/> 検討中 <input type="checkbox"/> 不可能 <input type="checkbox"/> その他	<p>避難所運営ゲーム、通称ハグ（HUG）は、避難所で起こり得る出来事にゲーム形式で意見を出し合うもので、年齢性別を問わず参加者が楽しみながら避難所運営について学ぶことができます。</p> <p>現在、市にHUGのキットが約80セットあり、防災訓練や研修などでHUGをしたいという要望があれば、職員が出向き指導等を行っていますので、お気軽に危機管理課までお問い合わせください。</p>	<p>地域防災課 芝 大輔 926-9218</p> <p>危機管理課 竹田 憲和 948-6815</p>